

夏祭りを盛大に終了しました。

おかげ様で今年も約700名の方にお越しいただきました。有難うございました。



舞台設置等、早朝より準備に取り掛かりました。



フラダンスの皆さんで幕が開きました



県から3名、市から5名の若手職員の方々が応援に入られました。ご苦労様でした。



田中市長も見えられ、挨拶をいただきました。



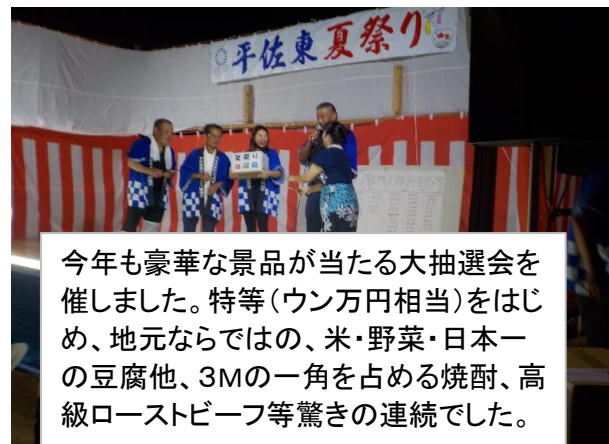
かき氷が美味しそうです。



全員参加の総踊りです。



小学校の神輿隊の登場です。



今年も豪華な景品が当たる大抽選会を催しました。特等(ウン万円相当)をはじめ、地元ならではの、米・野菜・日本一の豆腐他、3Mの一角を占める焼酎、高級ローストビーフ等驚きの連続でした。



平佐東地区コミュニティ協議会から三役の他自治会長さん方も含めて、交際交流センターで八月七日に開催された川内中央地区の令和コミトークに参加しました。市長、副市長をはじめ市の幹部の方々が出席をされた中、活発な意見が出て、有意義な時間がありました。

第29回 平佐東レキバナ(歴史話)講話 (茶園三洋さん)

雲之上城址(くものうえじょうし)

私は地元のK様に一度道案内をしていただいた。K様近くの山道は、九州電力の送電線の定期検査のための小道(道標のピンク色と黄色のテープが随所に見られる)である。

そのため、外(県道335号線側)から見ると急な斜面の山(樋脇川が狭まり対岸に岩がむき出しになった急崖が見え、頭頂部に送電線を支えるカラフルな鉄塔がある山)のために覚悟して登り始めたが、意外と緩やかな登り道であった。10分ぐらいで最初の送電線鉄塔下に着き、その先には「クセンダン(苦戦段)」と呼ばれる平坦地が広がる。その場所にはかつて寺があり、戦後まもなくまでお地蔵さんの石仏があったとのこと。その世話人の方は1955年頃に永利に転居された。この地(「クセンダン」)は第19回のレキバナ講話で紹介した「川内東中学校の候補地」の一つだったことを覚えていらっしゃるでしょうか。

現在、小道の両側は倒木も多く行く手をさえぎられる竹藪も深く歩くのに大変苦労するが、小道を外れなければ最初の鉄塔から10分もかからずに2番目の送電線鉄塔(塗装されてない)が現れる。そこから下り坂となり2~3分歩くと両側が急斜面の谷が迫る道となる。ここを「キズシ」と言うらしい。そこから、上り坂となる小道を確かめながら進むこと3~4分ぐらいで次の平坦地(曲輪か? 地元では「ジョンダン」)に出る。その広さは東西方向に100m幅50mで、西端に石造りの台座2基が少し土に埋もれている。ここをさらに登っていくと10分ぐらいで「シロヤマ(白山)」にたどり着く。地主の方より戦時中・戦後間もなくは芋など作っていた(畑)と聞いた。このあたりで3番目の送電線鉄塔(うすいグリーン色の塗装)が現れる。飯母橋付近から見上げる九州電力の3本の送電線鉄塔は半円弧状の尾根づたいにあり、九州電力の送電線・鉄塔の監視・検査するための小道がちょうど雲之上城址を歩く道となっている。

※「続き」がありますが、それは来月のレキバナ講話でお出ししますので、楽しみに。

夏祭りの写真で投稿していただきました。有難うございました。

お三方とも満面の笑みで当日の雰囲気がよく伝わります



田中市長

落合コミ協会長

山内夏祭り実行委員長



平佐東小の子ども達による合唱

校歌も歌いました

1人 片道 300円

なるべく乗り合わせでの、ご利用を
お願いします。

予約や利用の仕方など、詳しく聞きたい
方は、コミセンまで連絡ください。

平佐東地区
コミュニティセン
ター



8月 23日(土) 平佐東福祉サロン
28日(木) 文化祭役員会
運営委員会
9月 13日(土) あさひ資源保全組合
17日(水) 民児協

☆ 9月慰霊碑掃除当番 ・・瀬戸自治会